

「LGBT」に関するアンケート 集計結果 (津山市人権啓発課)

回答期間:インターネット 令和5年1月12日～2月28日 (30人)
市役所(紙) 令和5年1月12日～1月27日 (5人)
図書館前(紙) 令和5年1月30日～2月17日 (4人)

合計 39人

参考 令和3年度

インターネット 18人

市役所 7人

図書館前 5人

合計 30人

質問1 LGBTということばを知っていましたか。

- | | |
|--------------------|----|
| ① 知っていた(意味も知っていた) | 37 |
| ② 知っていたが、意味は知らなかった | 1 |
| ③ 知らなかった | 0 |

無回答 1

質問2 セクシュアルマイノリティ(LGBT等)についてどのような考えや、イメージを持っていますか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|----|
| ① 性の多様性・個人の人権として尊重すべき | 31 |
| ② 受け入れがたい存在 | 2 |
| ③ 自分自身や周りに当事者がいるため、身近に感じる | 11 |
| ④ 芸能人など公表する人が増えてきたので、身近に感じる | 10 |
| ⑤ 差別や偏見を受けている | 11 |
| ⑥ オープンにできず、隠している人が多いと思う | 23 |
| ⑦ からだの性を尊重すべきである | 2 |
| ⑧ その他 | 2 |

- ・当事者が認めてほしいとそのことを強制されているような気持ちになることがある
- ・あまりにも騒ぎすぎではないか。

無回答 1

質問3 セクシュアルマイノリティ(LGBT等)の方々が暮らしやすいまちをつくるための取組は必要だと思いますか。

- | | |
|----------------|----|
| ① 必要だ | 23 |
| ② どちらかといえば必要だ | 7 |
| ③ どちらかといえば必要ない | 6 |
| ④ 必要ない | 2 |

無回答 1

質問4 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々に対する必要な支援はなんだと思いますか。

（複数選択可）

- | | |
|------------------------------|----|
| ① 啓発活動（講演会、イベント、意識調査など） | 18 |
| ② 行政職員や教職員に対する研修の実施 | 15 |
| ③ 同性パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入 | 27 |
| ④ 当事者が気持ちや情報を共有できる居場所づくり | 18 |
| ⑤ 支援者（アライ）の育成・支援団体の形成・運営 | 14 |
| ⑥ 専門相談窓口の設置 | 17 |
| ⑦ その他 | 4 |

・LGBT差別禁止法

・なんで彼ら彼女らの問題ばかり取り扱うのですか。

・そのままでもいい。変に特別視するよりも自然に受け入れられる環境になる方がいい。

・全部必要で足りていないと思います。だからこそこの選択肢が出てきたんだと思う。

無回答 1

質問5 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々が生きづらいと感じるのはどういう場合だと思いますか。（複数選択可）

- | | |
|-------------------------------|----|
| ① 周囲の理解がない | 27 |
| ② いじめや差別や偏見を受ける | 24 |
| ③ 相談・支援体制が不十分である | 17 |
| ④ 婚姻や書類等への性別記載など法律等の整備が不十分である | 25 |
| ⑤ オープンにできず、隠して暮らさなければならない | 23 |
| ⑥ その他 | 4 |

・家族との関係が悪い

・深層意識の価値観

・上記のことを思い込みすぎることと受け入れてほしいという気持ちが大きすぎて、周りの人たちの気持ちに添えていない

・これも全部だと思います。わかっておられるなら改善してほしい。

無回答 1

質問6 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々が生きていくうえで直面している課題はなんだと思いますか。（複数選択可）

- | | |
|---|----|
| ① 学校生活（制服・宿泊行事・トイレ更衣室・プール） | 31 |
| ② 就労・職場（採用試験・トイレ更衣室・福利厚生制度） | 31 |
| ③ 住居（賃貸住宅の入居拒否） | 18 |
| ④ 公的サービス・社会保障 | 21 |
| ⑤ 医療（受診・パートナーの手術の同意・安否情報の提供・看護） | 26 |
| ⑥ 民間サービス（家族と同等のサービス提供 [家族割引・生命保険の受取など]） | 21 |
| ⑦ その他 | 5 |

・パートナーシップ宣誓制度がないこと

・結婚できない。

・社会の理解がないことについて

・自分の思いと周りの人たちの認識の差

・理解が進んでいない社会では、あらゆる場面で生きづらさを感じます。

質問7 あなたの年齢はどれですか。

- | | |
|----------|---------------|
| ① 10歳未満 | 0 |
| ② 10歳代 | 0 |
| ③ 20歳代 | 4 (ネット4) |
| ④ 30歳代 | 2 (紙1、ネット1) |
| ⑤ 40歳代 | 22 (紙1、ネット21) |
| ⑥ 50歳代 | 6 (紙3、ネット3) |
| ⑦ 60歳代 | 1 (ネット1) |
| ⑧ 70歳代 | 4 (紙4) |
| ⑨ 80歳代以上 | 0 |

質問8 あなたはセクシュアルマイノリティ（LGBT等）の当事者ですか。（任意回答）

- ① はい 4 ② いいえ 31 ③ わからない 4

質問9 質問8で「はい」と答えた方にお聞きします。

日常生活での困りごとについてお聞かせください。

- 価値観の違いを感じることもあること
- プライベートを詮索される環境にないので、特にありません
- 一緒に世帯を共にしているのに、同居人と記載しないといけないのが悲しい。
税金など国や県に納めているのに社会保障など結婚と同等の権利がない。